



物流ノウハウを生かし、
庫内オペレーションを提
供（完成予想図）

南本牧ふ頭（中区）に近
接し、首都高速道路湾岸線
・本牧ふ頭出入口と三溪
園出入口へのアクセスにも
恵まれた豊浦地区に立地。
物流ノウハウを生かし、
庫内オペレーションを提
供（完成予想図）

輸入食材取り扱い

定温庫とする。京浜地区の
定温庫としては有数の広さ
となる。

定温庫を含む施設の半分
のスペースは、輸入食材店
の卸売業者が物流センター
として使用。入庫検品や保

管、ピッキングといった庫
内作業はダイワコーポがト
ータルに行う。

ダイワコーポ営業部の担
当者は「輸入食材のコンテ
ナは横浜港か東京港で陸揚
げされるため、ドレージ費
用を考え、港湾に近い物流
施設への集約を荷主に提案
していた。早い段階での物
件仕入れと提案が奏功し
た」と説明。曾根社長も「當
社の全ての力をうまく発揮
できた。規模が大きいので
社員の緊張感も強いが、ハ
ード面に加え、営業倉庫業
者としての物流ノウハウと
いうソフト面の強みも生か
し、オペレーションを提供
していく」としている。

ダイワコーポ

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は2011年1月25日、同社最大の物流拠点、横浜本牧営業所（横浜市中区）を開設する。三菱商事都市開発（村田弘一社長、東京都千代田区）の物流施設を1棟借り、スペースの半分は輸入食材店に転貸してマザーセンターとして活用。このうち1階以外の部分では、ダイワコーポが庫内作業を行う。施設の供給だけでなく、物流ノウハウを生かしてオペレーションも手掛け、ハード・ソフト両面から荷主をサポートしていく。

（吉田英行）

来月開設 延べ床7万平米

横浜に自社最大拠点